

メディアセンター/ FM/AMレシーバー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告

本機は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

XAV-77



安全のために

本機は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故の原因となります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 運転中に画面を注視しない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。
- 自動車の運転中にテレビモニターの画面を凝視することは法律により制限されています。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていなか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



正しい取付け
正しい操作で
安全運転

目次

△警告・△注意	4
主な特長	7
準備	8
各部のなまえ	10

基本編

ラジオ・CD/MD/“MGメモリースティック”の聞きかた	12
テレビ・ナビ画面やビデオなどの見かた	14
セキュリティコードを設定する	16
時計を合わせる	18

応用編

FM/AM

モニターと表示窓の見かた	19
放送局を自動で登録する	21
放送局を手動で登録する	23
放送局に名前を付ける —ステーションメモ	24
放送局を名前で探す—リスト	26

CD/MD/“MGメモリースティック” 再生

モニターと表示窓の見かた	27
繰り返し聞く—リピート再生	29
曲順を換えて聞く—シャッフル再生	30
ディスクに名前を付ける—カスタムファイル —ディスクメモ	31
ディスクを名前で探す—リスト	33

TV/ナビ/その他の映像機器

チャンネルを登録する	34
画面モードを選ぶ	35

サウンドの設定

DSOを設定する	36
EQ7(イコライザー)を使う	37
音のバランスや音質を設定する(BAS/TRE/ BAL/FAD/SUB)	39
LPF(ローパスフィルター)を設定する ..	40
HPF(ハイパスフィルター)を設定する ..	41
「入力1」、「入力2」に接続した機器の 音量レベルを換える	42
ナビの音量レベルを換える	43

その他の操作

音や表示などの設定を変える	44
ロータリーコマンダーの操作	47

その他

使用上のご注意

テレビ/ビデオ画面を見るには	49
液晶パネルについて	49
本体の表面を傷めないために	49
ヒューズについて	49
結露について	49
電池の入れかた	50
カードリモコンについてのご注意	50
その他のご注意	50
モニターセット中に動作が 止まったときは	51

故障かな?と思ったら

主な仕様

保証書とアフターサービス



警告



火災



感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



取り付けは確実に行う

別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

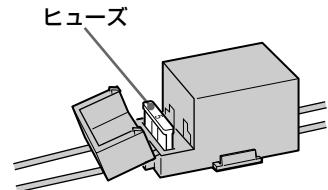
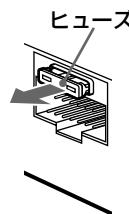


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止

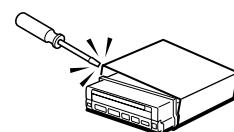


分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止





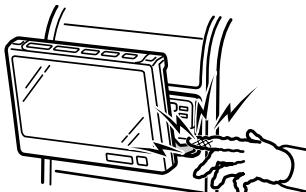
下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり
自動車に損害をあたえたりすることがあります。

モニターのセット/収納中は手を近づけない

手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



指挟み



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度にする

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

電池の使い方を誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。

⚠ 警告

- 電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに多量の水道水などのきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受ける。
- 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- 乳幼児の手の届かないところに置く。
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。
- 火の中に入れたり、加熱、分解、改造しない。
- 電池の(+)と(-)を正しく入れる。
- ショートの原因となるので、金属製のコインやキー、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。
- 電池は充電しない。
- 電池に液漏れや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- 電池に直接はんだ付けをしない。
- 保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁する。
- 皮膚に障害を起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。

⚠ 注意

- 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたる、変形させない。
- 直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温・多湿の場所に放置、保管しない。
- 電池を水などで濡らさない。

主な特長

7V型ワイドTFTインダッシュモニター

インダッシュ方式の採用により省スペースを実現しています（1 DINのスペースに取り付け可能）。必要なときにワンタッチで7V型のワイドモニターをセットして、テレビやDVDの映像を楽しむことができます。（DVDチェンジャーシステムは別売りです。）

FM/AMチューナー、ソニーバスコントロール

内蔵のFM/AMチューナーや本機に接続した別売りのソニーCD/MDチェンジャーやMG（マジックゲート）メモリースティックシステムアッププレーヤーを集中操作できる、カーオーディオの新しい操作環境を提供します。

45W×4アンプ内蔵

コンパクトサイズながら45Wの高出力アンプを4チャンネル内蔵し、余裕のある再生を楽しめます。

DSO

DSO（ダイナミックサウンドステージオーガナイザー）は、フロントドア下にあるスピーカーの音があたかも前方で鳴り響いているかのように再生する、ソニー独自の音場生成技術です。DSOは定位感のある音場を作り出すだけでなく、音のこもりを解消し、音質を向上させます。

EQ7

7種類のイコライザーカーブが音楽の種類ごとに用意されており、音楽に合わせて好みのサウンドを選択することができます。また、それぞれのイコライザーカーブは7つの周波数帯域ごとに調整でき、自分だけのサウンド作りを楽しめます。

A/V入力端子（2系統）、A/V出力端子、ナビ入力端子を装備

付属のTVチューナーユニットに別売りのA/V機器を同時に2台まで接続できます。また、A/V出力端子に別売りのモニターを接続すると、後部座席でも映像を楽しむことができます。

別売りのナビシステムを搭載している場合は、本機でナビの映像を見ることもできます。

準備

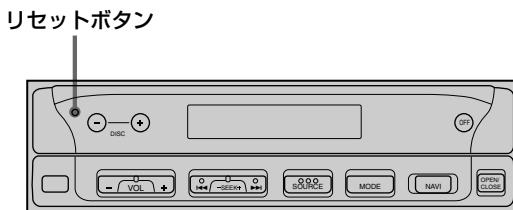
まず、本機をリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したとき、接続を変えたときは、本機をリセットする必要があります。

リセットボタンはつま楊枝の先などで押してください。

ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。

リセットボタンを押す



ご注意

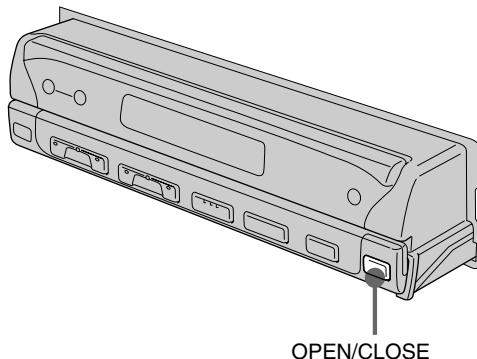
- リセットボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えることがあります。その場合は、登録し直してください。
- リセットボタンを押してから約10秒間、本機は初期設定動作を行います。
- リセット動作が終了したら、OPEN/CLOSEボタンを押して、モニターがセットされることを確認してからお使いください。

ご注意

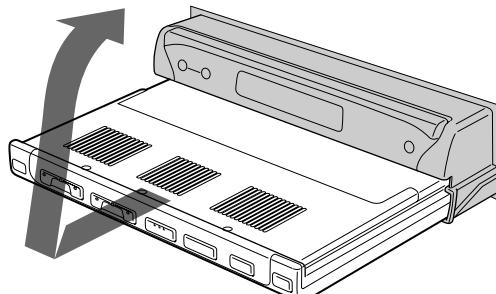
- カードリモコンでは、モニターのセットや収納はできません。
- モニターをセットしたり、収納したりするとき、シフトレバーなどの障害物にあたって動作が止まった場合は、「モニターセット中に動作が止まったときは」(51ページ) の手順に従ってください。

モニターをセットする

モニターのOPEN/CLOSEボタンを押す



モニターが本体から出てきて起き上がり、自動的に画面がでます。



ご注意

モニターを手で動かさないでください。

ご注意

- モニターを収納した場合、カードリモコンの操作ボタンのうち、MENU、LIST、ENTERボタンは働きません。
- モニターをセットしたり、収納したりするとき、シフトレバーなどの障害物にあたって動作が止まった場合は、「モニターセット中に動作が止まったときは」(51ページ)の手順に従ってください。
- モニターのセット動作中または収納動作中にOPEN/CLOSEボタンを押してしまうと、モニターが元の傾きでセットされなくなることがあります。その場合は、ANGLE+/-ボタンで傾きを調整しなおしてください。

ちょっと一言

モニターセット時にOFFボタンを押した場合、SOURCEボタンを押すと再びモニターが映ります。

* ACCポジションのないお車のときは、本体のOFFボタンまたはカードリモコンのOFFボタンを押し続けて時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

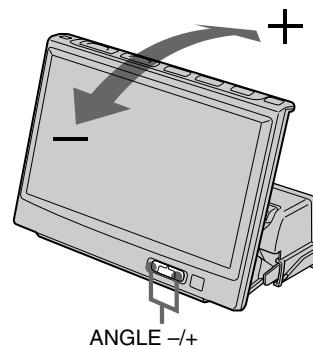
電源を入れるには、本体のSOURCEボタンを押してください。OFFボタンを押し続けて時計表示を消した状態ではカードリモコンの操作はできません。

モニターの傾きを調整するには

モニターが見づらいとき、モニターの傾きを調整することができます。

ANGLE+/-ボタンを繰り返し押す

モニターの傾きは段階的に調整することができます。



+ボタン：奥に傾きます。

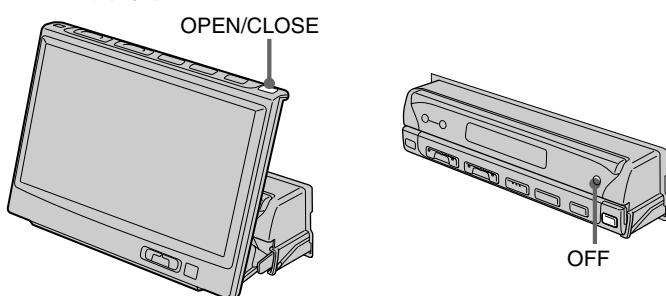
-ボタン：手前に傾きます。

調整した傾きは、本機に記憶されます。モニターを収納した後再びセットするときには、調整した傾きでモニターが起き上がります。

モニターを収納するには

OPEN/CLOSEボタンを押す

モニターが本体に収納され、ラジオやCDなどの音声だけを聞くことができます。



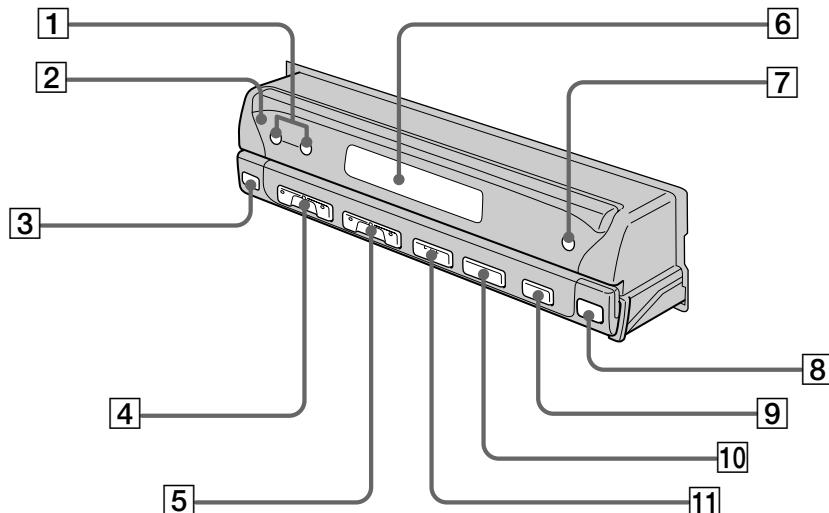
使い終わったら

- モニターがセットされた状態でカードリモコンのOFFボタンを押すと、モニターの画面と音声が消え、時計だけが表示されるスタンバイ(待機)状態になります。OFFの状態からONにするには、本機のSOURCEボタンを押します。
- 車のキーをOFFにすると、本機の電源が自動的に切れます。*

各部のなまえ

本体

モニター収納時



1 DISC -/+ (ディスク) ボタン

2 リセットボタン

3 カードリモコン受光部

4 VOL -/+ (音量調節) ボタン

5 SEEK/AMS -/+ (シークエイエムエス) ボタン

6 表示窓

7 OFF (オフ) ボタン*

8 OPEN/CLOSE (オープン/クローズ) ボタン

9 NAVI (ナビ) ボタン

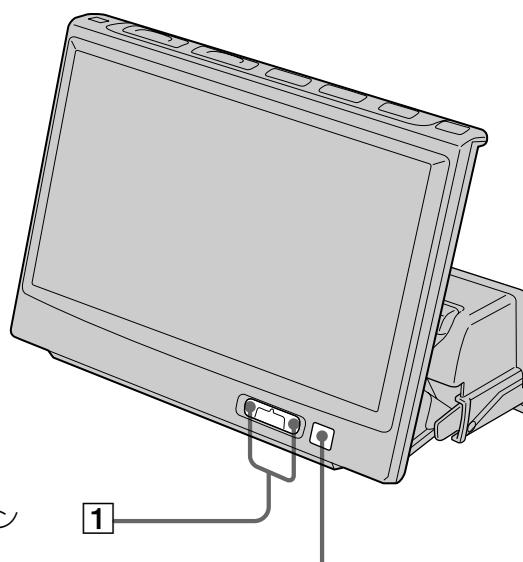
10 MODE (モード) ボタン

11 SOURCE (電源ON/ラジオ/CD/MD/VIDEO/TV) ボタン

* ACCポジションのないお車のときは、本体のOFFボタンまたはカードリモコンのOFFボタンを押し続けて時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

電源を入れるには、本体のSOURCEボタンを押してください。OFFボタンを押し続けて時計表示を消した状態ではカードリモコンの操作はできません。

モニターセット時

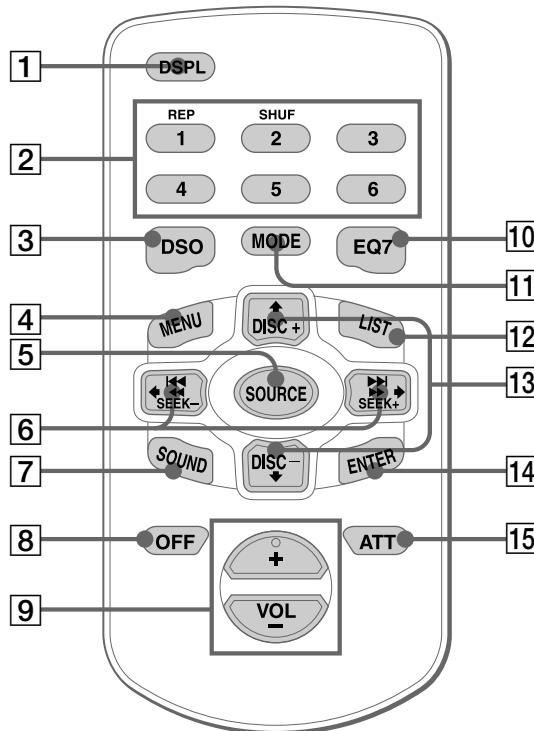


1 ANGLE -/+ (傾き調節) ボタン

2 カードリモコン受光部

カードリモコン

本機の操作は、カードリモコンでも行うことができます。



① DSPL (表示切り替え) ボタン

② 数字 (1~6) ボタン

③ DSO (ディーエスオー) ボタン

④ MENU (メニュー) ボタン

⑤ SOURCE (電源ON/ラジオ/CD/MD/VIDEO/TV) ボタン

⑥ SEEK/AMS -/+ (シークエイエムエス) ボタン

⑦ SOUND (サウンド) ボタン

⑧ OFF (オフ) ボタン

⑨ VOL -/+ (音量調節) ボタン

⑩ EQ7 (イコライザー) ボタン

⑪ MODE (モード) ボタン

⑫ LIST (リスト) ボタン

⑬ ▲/▼ DISC -/+ (ディスク) ボタン

⑭ ENTER (エンター) ボタン

⑮ ATT (アッテネート) ボタン

ご注意

OFFボタンを押し続けて電源をOFFにした場合、カードリモコンで操作することはできません。

カードリモコンで操作するには、本体のSOURCEボタンを押して本機の電源をONにしてください。

ちょっと一言

電池の交換のしかたについて、詳しくは「電池の入れかた」(50ページ)をご覧ください。

ラジオ・CD/MD/“MGメモリースティック”の聞きかた

ラジオを聞く

ちょっと一言

ラジオ・CD/MD/“MG（マジックゲート）メモリースティック”は、モニターの状態（セットまたは収納）にかかわらず聞くことができます。

1 ラジオ受信にする

押すごとに、FM/AM → CD* → MD*/MS* → TVと切り換わります。

* 接続したときのみ表示されます。

2 聞きたいバンドを選ぶ

押すごとに、FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → と切り換わります。



3 放送局を選ぶ

自動選局で受信する（自動選局）

SEEK -/+ボタンを聞きたい放送局を受信するまで繰り返し短く押します。

希望の放送局を受信する（手動選局）

詳しくは23ページの「放送局を手動で登録する」をご覧ください。

ちょっと一言

ラジオ受信にすると、パワーアンテナが自動的に上がります。

CD/MD/ “MGメモリース ティック” を聞く

準備：CDやMD、“MG（マジックゲート）メモリース
ティック”を聞くには、別売りのソニーCD/MDチェン
ジャーやMGメモリースティックシステムアッププレーヤー
を付属のTVチューナーユニットに接続しておきます。

1 CDまたはMDを選ぶ

押すごとに、FM/AM → CD* → MD*/MS* → TVと切り換わります。

* 接続したときのみ表示されます。

2 チェンジャーを選ぶ

CDのとき：CD1 → CD2 → CD3 → ...

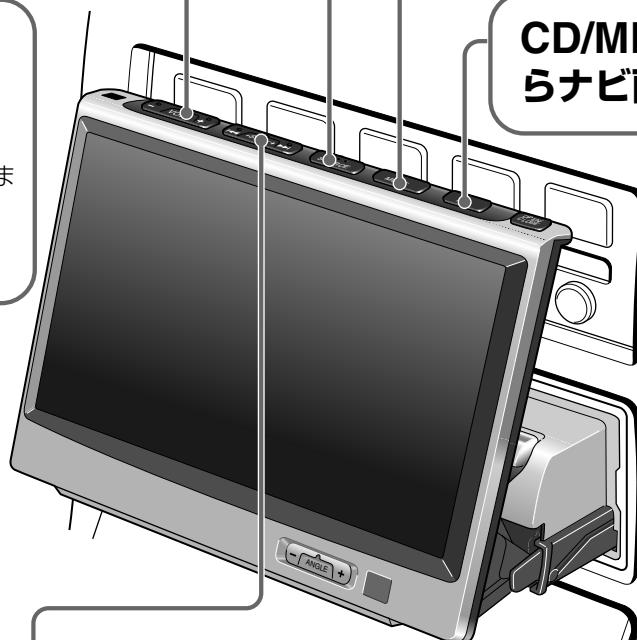
MDのとき：MD1 → MD2 → MD3 → ...

3 ディス クを選ぶ

カードリモコンの↑ま
たは▼を押します。
(11ページ)

音量を調節する

CD/MDを聞きなが らナビ画面にする



聞きたいところを探す（手動サーチ）

SEEK/AMS -/+ボタンを押し続け、聞きたいところで離します。

曲の頭出しをする

（自動選曲センサー（AMS））

SEEK/AMS -/+ボタンをとばしたい曲の数だけ短く押します。

MGS-X1およびMDプレーヤー接続時のご注意

本機はMGS-X1をMDプレーヤーと認識します。

- MGS-X1を再生したいときは、SOURCEボタンを押して「MS」または「MD」を選択してください。モニターまたは表示窓に「MS」が表示されると再生が始まります。「MD」が表示されたときは、MODEボタンを押して「MS」を選択すると再生が始まります。
- MDを再生したいときは、SOURCEボタンを押して「MD」または「MS」を選択してください。モニターまたは表示窓に希望のMDが表示されると再生が始まります。「MS」または別のMDが表示されたときは、MODEボタンを押して希望のMDを選択すると再生が始まります。

テレビ・ナビ画面やビデオなどの見かた

テレビやナビ画面を見る

準備：テレビを見るには、付属のTVチューナーユニットを接続しておきます。
ナビ画面を見るには、別売りのソニーカーナビシステムを接続しておきます。

1 モニターをセットする

(8ページ)

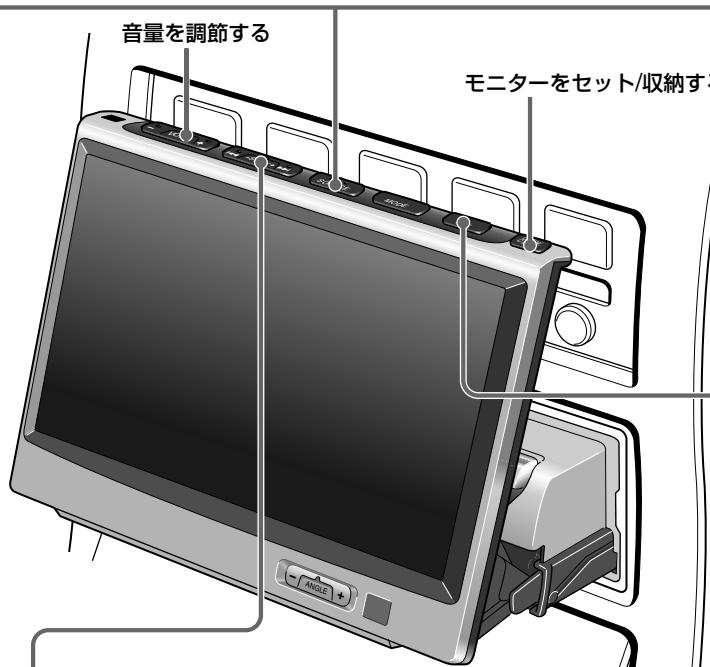


2 TV1またはTV2を選ぶ

SOURCEボタンを押すごとに、FM/AM → CD* → MD*/MS* → TVと切り換わります。

「TV」が選択されているとき、MODEボタンを押すごとにTV1 → TV2 → VIDEO1 → VIDEO2と切り換わります。

* 接続したときのみ表示されます。



3 テレビのチャンネルを選ぶ

自動で受信する（自動選局）

SEEK -/+ボタンを短く押します。

ソニーカーナビシステム接続時のご注意

本機とソニーカーナビシステム（別売り）を接続した場合、ソニーカーナビシステム付属のリモコンにあるナビボタンとテレビ/ビデオボタンは動作しません。次の操作はXAV-77本体またはXAV-77付属のカードリモコンで行ってください。

ナビ画面に切り換える

XAV-77本体のNAVI（ナビ）ボタンを押してください。

テレビやビデオなど他の画面に切り換える

テレビの操作をする

本体またはXAV-77付属のカードリモコンで行ってください。

ビデオなどの映像を見る

準備：別売りのビデオ機器などを付属のTVチューナーユニットに接続しておきます。

1 モニターをセットする（8ページ）



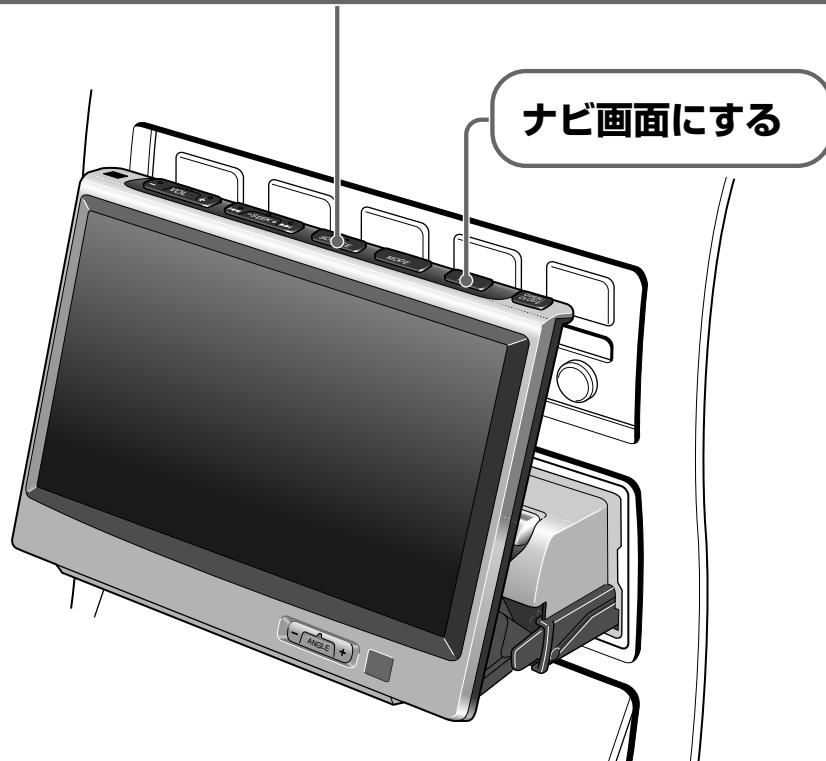
2 VIDEO1またはVIDEO2を選ぶ

SOURCEボタンを押すごとに、FM/AM → CD* → MD*/MS* → TVと切り換わります。

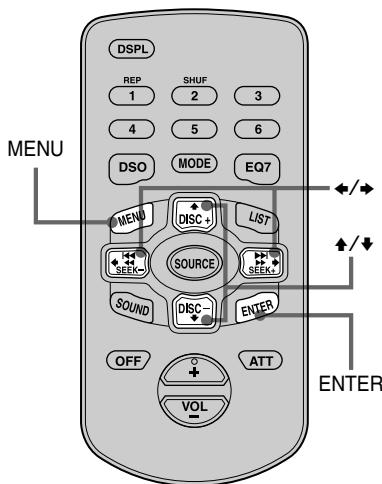
「TV」が選択されているとき、MODEボタンを押すごとにTV1 → TV2 → VIDEO1 → VIDEO2と切り換わります。

* 接続したときのみ表示されます。

ナビ画面にする



セキュリティコードを設定する



セキュリティコードを設定する

セキュリティコード（4桁の数字によるパスワード）を設定することによって、本機の所有者以外の不正使用を防ぐことができます。

セキュリティコードの設定のしかた

設定するには、モニターをセットした状態で、カードリモコンを使って操作します。

1 MENUボタンを押す。

2 ↑または↓を押して「Code Edit」を選択する。



3 ENTERボタンを押す。

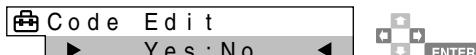


4 ↑または↓を押して数字を選択する。

5 →を押して次の桁に移動する。

6 手順4～5を繰り返し、すべての桁に数字を入力する。

7 ENTERボタンを押す。



8 「Yes」が点滅している状態で、ENTERボタンを押す。

セキュリティコードが設定されます。

セキュリティコードを設定すると、本機を長時間バッテリーから外し、再びバッテリーに接続したとき、表示窓にコード入力を促す表示が現れます。

ご注意

本機をバッテリーから外して、本機内部の電荷が完全に放電した状態で電源をONにした場合のみ、セキュリティコード入力の機能が働きます。

本機内部の電荷が放電する前に電源をONにすると、通常の時計表示となります。

セキュリティコードを削除するには
「セキュリティコードを設定するには」の手順2で「Code Delete」を選択し、手順7まで行います。

セキュリティコードの入力のしかた

セキュリティコードが設定されていると、本機を長時間バッテリーからはずし、再びバッテリーに接続したとき、表示窓にコード入力を促す表示が現れます（前ページの「ご注意」参照）。
入力するには、カードリモコンを使って操作します。

1 ↑または↓を押して数字を選択する。

CODE: _____

2 →を押して次の桁に移動する。

CODES: _____

3 手順1～2を繰り返し、すべての桁に数字を入力する。

4 ENTERボタンを押す。

表示窓は時計表示となります。

ちょっと一言

入力したコードが正しくないと「CODE ERR」*と点滅表示し、コード入力の表示に戻ります。

* モニターセット時はモニターに「Code Error」と点滅表示します。

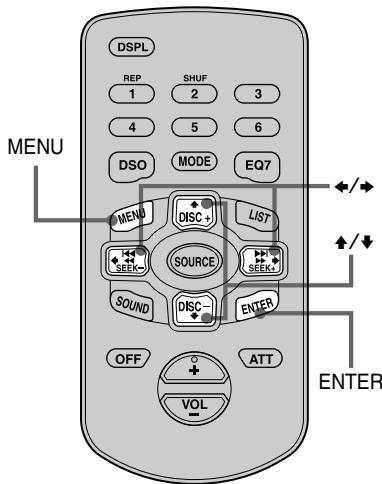
ご注意

リセットボタンを押してもセキュリティコードは削除されません。

時計を合わせる

本機は12時間表示です。

時計を合わせるには、モニターをセットした状態で、カードリモコンを使って操作します。



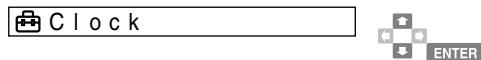
ちょっと一言

Dual Informationを「on」に設定すると、時計が常に表示されます（44ページ）。

1

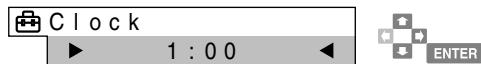
MENUボタンを押す。

▲または▼を押して「Clock」を選択する。



2

ENTERボタンを押す。



① ▲または▼を押して「時」を合わせます。

② ➤を押して「分」の位置に移動し、▲または▼を押して「分」を合わせます。

▼を押すと数値が戻り、▲を押すと数値が進みます。

3

ENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

スタンバイ状態のときは

本機が時計表示のみのスタンバイ（待機）状態のときは、SOURCEボタンを押すと、選択されているソースがモニターまたは表示窓に表示されます。

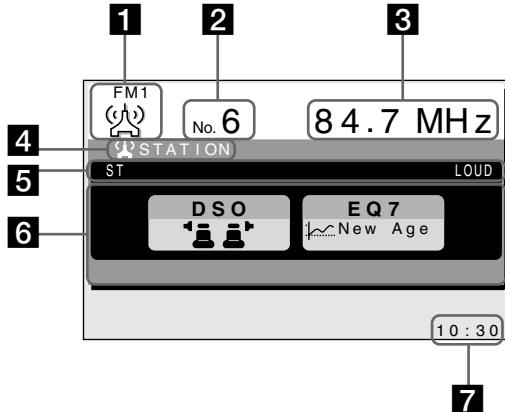
ご注意

モニターをセットした状態でラジオを受信している場合はカードリモコンのDSPLボタンは働きません。

モニターと表示窓の見かた

選択されたソースの情報が、モニターまたは表示窓（モニター収納時）に表示されます。

ラジオ受信中のモニター表示



1 ソースの種類とラジオのバンド

2 プリセット番号（1～6）

3 周波数

4 ステーションメモ（放送局名など）

ご注意

- 8文字まで（アルファベットの小文字とカナは使用できません。）
- 名前が付いていないときは、「••••••••」と表示されます。

5 ピクトグラム表示

各種の設定状況がピクトグラム（絵文字）で表示されます。

例)

ST : ステレオ放送受信中

LOUD : Loudnessの設定が「on」

6 グラフィック表示

通常はDSO（36ページ）、EQ7（37ページ）の現在の設定が表示されます。

カードリモコンのLISTボタンを押すと、ステーションメモがリスト表示されます（26ページ）。

イコライザーカーブの設定時は、グラフィックイコライザーが表示されます（38ページ）。

7 時計表示

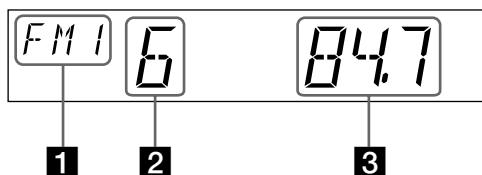
Dual Informationを「on」に設定すると、時計が表示されます（44ページ）。

ご注意

表示窓には、以下の情報は表示されません。

- リスト表示
- メニュー表示

ラジオ受信中の表示窓の表示



1 ソースの種類とラジオのバンド

2 プリセット番号 (1~6)

3 周波数/時計表示/ATTステータス/放送局名

Dual Informationを「on」に設定すると、ここに時計が表示されます (44ページ)。

ATT (アッテネート) がONのあいだは常に「ATT」と表示されます。

1～**3**の領域には、カードリモコンの以下のボタンが押されるごとに、それぞれの情報が表示されます。

DSPL：ステーションメモで登録された名前が表示されます。
(24ページ)

DSO：DSO機能によるバーチャルスピーカーの設定が表示されます。
(36ページ)

押すごとに設定が変更されます。

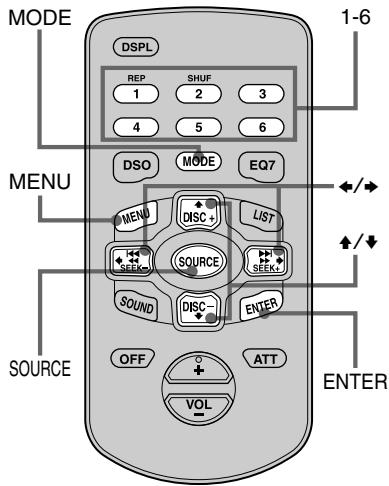
EQ7：EQ7機能で用意されているイコライザーカーブの設定が表示されます。
(37ページ)

押すごとに設定が変更されます。

SOUND：音のバランスや音質 (バス、トレブル、バランス、フェーダー、サブウーファー) の設定が表示されます。
(39ページ)

表示されている間に◀または▶を押すと設定を変更できます。

放送局を自動で登録する



ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- モニターにプリセット番号が表示されていたときは、それ以降の番号のチャンネルに放送局が登録されます。

受信状態の良い放送局を周波数の順に自動的に登録することができます。「FM1」、「FM2」、「AM1」、「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM12局、AM12局が登録できます。

設定するには、モニターをセットした状態で、カードリモコンを使って操作します。

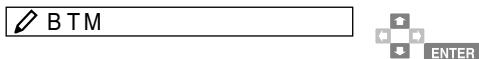
1 SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。

2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。

押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 → AM2
と切り換わります。

3 MENUボタンを押す。

4 ↑または↓を押して「BTM」(ベストチューニングメモリー)を選ぶ。



5 ENTERボタンを押す。

「BTM」が点滅表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

登録が終わると通常の表示に戻ります。

登録した放送局を聞くには

ラジオ受信中に数字ボタン、◀または▶を押して聞きたい放送局を選びます。

旅先などで、登録した放送局が受信できないときは

◀または▶を押してすぐに離します。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまで◀または▶を押し続けます。

自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。

ローカル受信にするには、モニターをセットした状態で、カードリモコンを使用し、以下のように操作します。

1 ラジオ受信中にMENUボタンを押す。

2 ▲または▼を押して「Local Seek」を選ぶ。

3 ▶を押して「on」を選び、ENTERボタンを押す。

設定後、◀または▶を押してすぐに離すと、自動的に放送局を探します。

ふつうの受信に戻すには

手順3で「off」を選びます。

ステレオ放送が聞きにくいときは

音声をモノラルにすると聞きやすくなります。

音声をモノラルにするには、モニターをセットした状態で、カードリモコンを使用し、以下のように操作します。

1 ラジオ受信中にMENUボタンを押す。

2 ▲または▼を押して「Mono」を選ぶ。

3 ▶を押して「on」を選び、ENTERボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには

手順3で「off」を選びます。

受信周波数を自動的に調整する (IF Autoモード)

雑音が入って放送が聞きにくくなる場合、受信周波数の幅を自動的にせばめるためステレオ放送がモノラルになることがあります。このような場合でもステレオで聞くことができます。

IF Autoモードを設定するには、モニターをセットした状態で、カードリモコンを使用し、以下のように操作します。

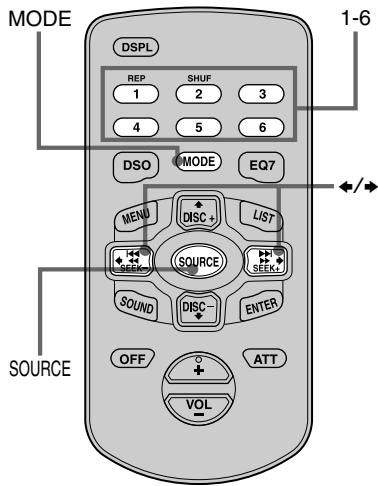
1 MENUボタンを押す。

2 ▲または▼を押して「IF」を選ぶ。

3 ▶を押して「Wide」を選び、ENTERボタンを押す。

ご注意

IF Autoモードを「Wide」にすると、雑音が入って放送が聞きにくくなる場合があります。



放送局を手動で登録する

お好みの放送局を手動で登録することができます。

1 SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。

2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。

押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 → AM2
と切り換わります。

3 ←または→を押してすぐに離す。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。
聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

4 登録したい数字ボタンを、「Memory」(モニター) または「MEM」(表示窓) が表示されるまで押し続ける。



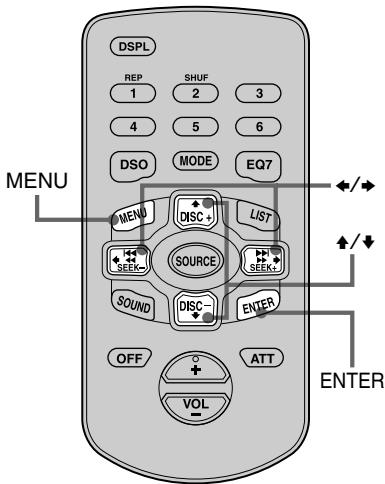
押した数字ボタンの番号が表示され、そのボタンに選んだ放送局が登録されます。

ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の登録は消去されます。

ちょっと一言

- 「FM1」、「FM2」、「AM1」、「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM12局、AM12局が登録できます。
- 聞きたい放送局の周波数がわかっているときは、←または→を押し続けて大まかに周波数を合わせ、次に←または→を短く繰り返し押して正確に周波数を合わせます。



ちょっと一言

- ▲を押すごとにA → B → C → ... → Z → 0 → 1 → 2 → ... → 9 → + → - → * → ? → ? → > → < → . → _ と換わります。
- ▼を押すと、逆順に表示されます。
- ▲または▼を押し続けると、文字が連続して換わります。
- アルファベットの小文字とカナは使用できません。
- 文字を空けたいときは、▶を押して「_」を入力します。
- 文字入力を間違えたときは、◀を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

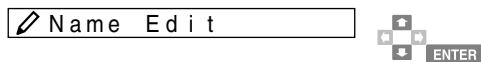
放送局に名前をつける－ステーションメモ

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。最大62の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけるれます。

設定するには、モニターをセットした状態で、カードリモコンを使って操作します。

1 名前をつけたい放送局を受信し、MENUボタンを押す。

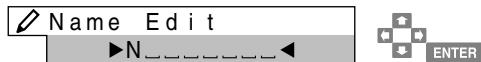
↑または▼を押して「Name Edit」を選ぶ。



2 ENTERボタンを押す。



3 ↑または▼を押して入力する文字を選び、→を押して次の文字に移動させる。



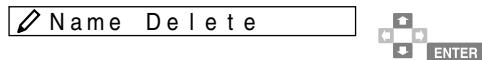
スペースを入れたいときは、続けて▶を押します。

5 手順4を繰り返して、名前を入力し終えたらENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

放送局の名前を消去するには

- 1 ラジオ受信中にMENUボタンを押す。
- 2 ↑または↓を押して「Name Delete」を選ぶ。



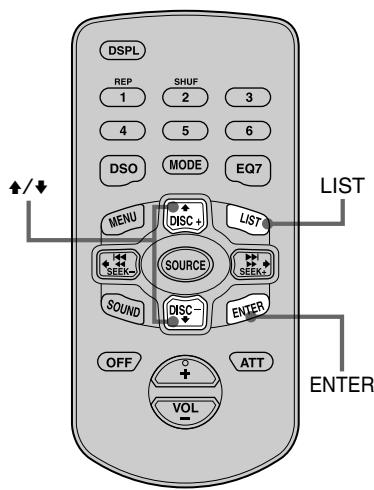
- 3 ENTERボタンを押す。
- 4 ↑または↓を押して消去する放送局の名前を選ぶ。



ちょっと一言

放送局の名前をすべて消去すると、自動的に通常の画面が表示されます。

- 5 ENTERボタンを2秒以上押す。
選択した放送局の名前が消去されます。
ほかの放送局の名前を消去するときは手順4～5を繰り返します。
- 6 MENUボタンを2回押す。
通常の画面が表示されます。



ご注意

- 放送局に名前がついていないときは、周波数が表示されます。

ちょっと一言

- 放送局の選択をキャンセルするには、手順3の前にLISTボタンを押してください。
- 現在受信中の放送局名の左右には「▶◀」が表示されます。

放送局を名前で探すリスト

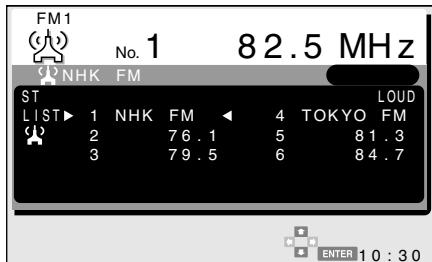
放送局に名前をつけておくと、名前を見ながら放送局を探すことができます。放送局に名前をつけるには、24ページをご覧ください。

リスト表示するには、モニターをセットした状態で、カードリモコンを使って操作します。

1

ラジオ受信中にLISTボタンを押す。

プリセット局のリストが表示されます。



2

↑または▼を押して放送局を選ぶ。

3

ENTERボタンを押す。

選局が終了すると、通常の画面が表示されます。

CD/MD/“MGメモリースティック”再生

準備：CDやMD、“MG（マジックゲート）メモリースティック”を聞くには、別売りのソニーCD/MDチェンジャー或はMGメモリースティックシステムアップブレーヤーを付属のTVチューナーユニットに接続しておきます。

スタンバイ状態のときは

本機が時計表示のみのスタンバイ（待機）状態のときは、SOURCEボタンを押すと、選択されているソースがモニターまたは表示窓に表示されます。

*1 DSPLボタンを押して「NO Disc Name」、「NO Album Name」、「NO Track Name」、「NO ID3 Tag」と表示されたときは、それぞれディスク名、アルバム名、曲名、ID3タグがないことを示します。

*2 「ディスクに名前を付ける—カスタムファイル—ディスクメモ」（31ページ）

*3 「LP2」または「LP4」は、別売りのMDLP機能付きのMDプレーヤーを接続し、MDLPディスクを再生したときのみ表示されます。

*4 「MP3」は、別売りのMP3ファイル再生機能付きのCDプレーヤーを接続し、MP3ファイルを再生したときのみ表示されます。

ご注意

- 表示できない文字や記号は「*」で表示されます。
- 文字数が多いCD TEXTディスクの場合、スクロールしないか、または表示されないことがあります。
- CD TEXTディスクやアルバムの曲ごとのアーティスト名やアルバム名は表示できません。

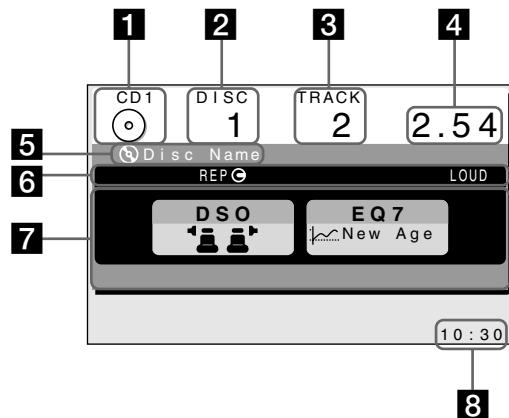
ちょっと一言

Auto Scrollを「off」に設定し、ディスク/トラック/アルバムを変更すると、ディスク名/トラック名/アルバム名はスクロールしません。

モニターと表示窓の見かた

選択されたソースの情報が、モニターまたは表示窓（モニター収納時）に表示されます。

CD再生中のモニター表示



1 ソースの種類およびチェンジャー番号

2 ディスク番号/アルバム番号 (MP3再生時のみ)

3 曲番号

4 再生経過時間

5 ディスク名^{*1*2}

6 ピクトグラム表示^{*3*4}

各種の設定状況がピクトグラム（絵文字）で表示されます。

例)

□：曲

○：アルバム

◎：ディスク

◎：チェンジャー

7 グラフィック表示

通常はDSO（36ページ）、EQ7（37ページ）の現在の設定が表示されます。

カードリモコンのLISTボタンを押すと、ディスク名がリスト表示されます。（33ページ）

イコライザーカーブの設定時は、グラフィックイコライザーが表示されます。（38ページ）

8 時計表示

Dual Informationを「on」に設定すると、時計が表示されます。（44ページ）

CD/MD/“MGメモリースティック”再生

ご注意

表示窓には、以下の情報は表示されませ

ん。

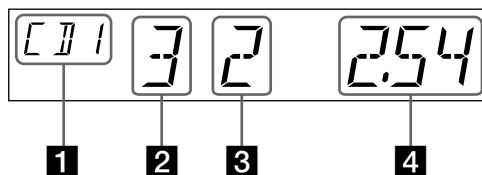
- リスト表示
- メニュー表示

ちょっと一言

MP3ファイルの再生では

- ディスク番号およびアルバム番号は表示されません。
- DSPLボタンを押すごとに、時間、ディスク名、アルバム名、曲名、ID3タグが表示されます。

CD再生中の表示窓の表示



1 ソースの種類とチェンジャー番号

2 ディスク番号

3 曲番号*

4 再生経過時間*

Dual Informationを「on」に設定すると、ここに時計が表示されます。(44ページ)

ATT(アッテネート)がONのあいだは常に「ATT」と表示されます。

1～**4**の領域には、カードリモコンの以下のボタンが押されるごとに、それぞれの情報が表示されます。

DSPL:カスタムファイル機能で登録された名前が表示されます。(31ページ)

DSO:DSO機能によるバーチャルスピーカーの設定が表示されます。(36ページ)

押すごとに設定が変更されます。

EQ7:EQ7機能で用意されているイコライザーカーブの設定が表示されます。(37ページ)

押すごとに設定が変更されます。

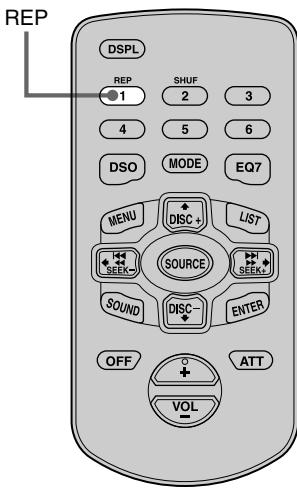
SOUND:音のバランスや音質(バス、トレブル、バランス、フェーダー、サブウーファー)の設定が表示されます。(39ページ)

表示されている間に◀または▶を押すと設定を変更できます。

* 曲番号が100以上、再生経過時間が100分以上のときは、再生経過時間は正しく表示されません。

例) 曲番号:100、再生経過時間:123.59のとき

表示窓の表示:10023.59



繰り返し聞く—リピート再生

再生中の曲のみ、またはアルバム/ディスク内の全曲を繰り返し聞くことができます。

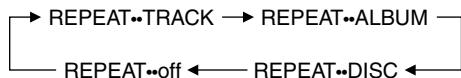
REPEAT••TRACK : 再生中の曲を繰り返す。

REPEAT••ALBUM : 再生しているアルバムを繰り返す (MP3 ファイル再生時)。

REPEAT••DISC : 再生しているディスクを繰り返す。

CDまたはMDを再生中に数字ボタン1 (REP) を押して、再生モードを選びます。

ボタンを押すごとに、モニター表示は次のように切り換わります。



ご注意

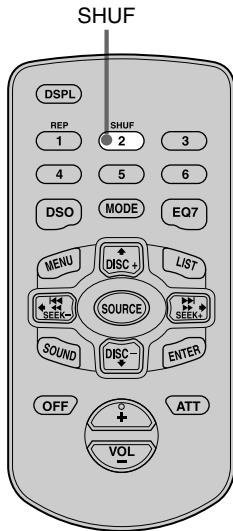
“MGメモリースティック”のリピート再生はできません。

リピート再生を止めるには

「REPEAT••off」を選びます。

CD/MD/“MGメモリースティック”再生

曲順を換えて聞く—シャッフル再生



ちょっと一言

シャッフル再生中は、同じ曲が2度以上再生されることがあります。

ご注意

- “MGメモリースティック”のシャッフル再生はできません。
- 「SHUFFLE••ALL」でCD、MDを混ぜてシャッフル再生することはできません。
- 「SHUFFLE••ALL」は同じ種類のメディアを再生する別売りのチェンジャーを2台以上接続したときに選択できます。

再生中のアルバム/ディスク内の全曲、またはチェンジャー内の全ディスクの曲順を換えて聞くことができます。

SHUFFLE••ALBUM：再生しているアルバムの全曲を順不同に再生する（MP3ファイル再生時）。

SHUFFLE••DISC：再生しているディスクの全曲を順不同に再生する。

SHUFFLE••CHANGER：再生しているチェンジャー内の全ディスクを順不同に再生する。

SHUFFLE••ALL：再生しているソース（CDまたはMD）のすべての機器の全ディスクまたは全アルバムを順不同に再生する。

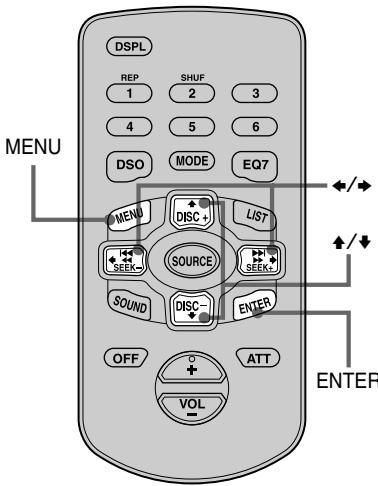
CDまたはMDを再生中に数字ボタン2（SHUF）を押して、再生モードを選びます。

ボタンを押すごとに、モニター表示は次のように切り換わります。



シャッフル再生を止めるには

「SHUFFLE••off」を選びます。



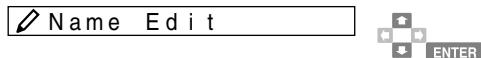
ディスクに名前をつける—カスタムファイル—ディスクメモ

カスタムファイルとは？

CDソフトのタイトル名を登録・表示する機能です。別売りのカスタムファイル対応のソニーCDチェンジャーを接続すると、CDに8文字までの名前をつけられ、ディスクメモ、リスト機能を楽しむことができます。

設定するには、モニターをセットした状態で、カードリモコンを使って操作します。

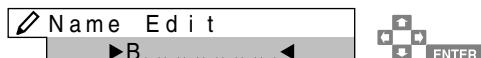
- 1 CDを再生中にMENUボタンを押す。
- 2 ↑または↓を押して「Name Edit」を選ぶ。



- 3 ENTERボタンを押す。



- 4 ↑または↓を押して入力する文字を選び、→を押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けて→を押します。

- 5 手順4を繰り返して、名前を入力し終えたらENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

ちょっと一言

- ↑を押すごとにA → B → C → ... → Z → 0 → 1 → 2 → ... → 9 → + → - → * → ? → ? → > → < → . → _と換わります。
- ↓を押すと、逆順に表示されます。
- ↑または↓を押し続けると、文字が連続して換わります。
- アルファベットの小文字とカナは使用できません。
- 文字をあけたいときは、「_」を入力します。
- 文字入力を間違えたときは、←を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

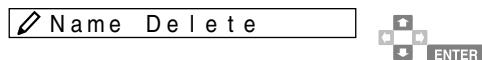
ご注意

リピート/シャッフル再生は、名前の入力が終了するまで中断されます。

CD/MD/“MGメモリースティック”再生

名前を消去するには

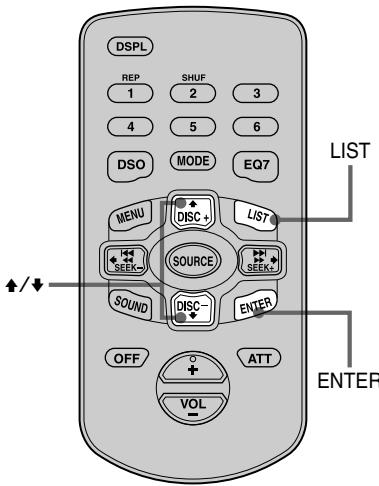
- 1 CDを再生中にMENUボタンを押す。
- 2 ↑または↓を押して「Name Delete」を選ぶ。



- 3 ENTERボタンを押す。
- 4 ↑または↓を押して消去するディスクの名前を選ぶ。



- 5 ENTERボタンを2秒以上押す。
名前が消去されます。
ほかのディスクの名前を消去するときは手順4～5を繰り返します。
- 6 MENUボタンを2回押す。
通常の画面が表示されます。



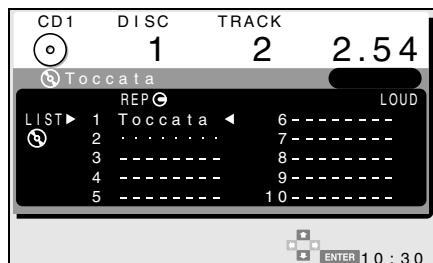
ディスクを名前で探すリスト

次の場合に名前を見ながら好きなディスクを選ぶことができます。

- ディスクメモ (31ページ) を使用しているCDを再生する場合
- MDを再生する場合
- CD TEXT機能に対応したCDプレーヤーでCD TEXT情報を使用しているCDを再生する場合
- MP3ファイルを再生する場合

リスト表示するには、モニターをセットした状態で、カードリモコンを使って操作します。

1 CD/MDチェンジャー内のディスクを再生中に LISTボタンを押す。



ディスク名のリストが表示されます。

2 ↑または↓を押してディスクを選ぶ。

3 ENTERボタンを押す。

再生が始まります。

ご注意

ディスク名のリスト画面には、次の表示が出ることがあります。

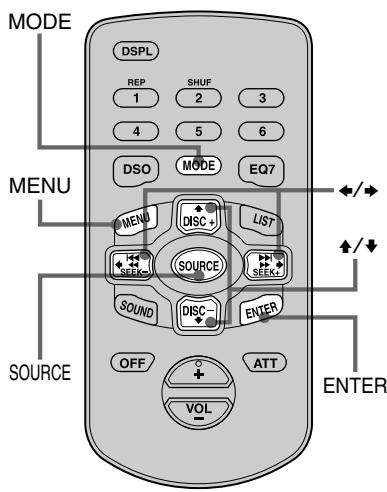
- 「—————」：ディスクが入っていない。
- 「*****」：名前がついていない。
- 「????????」：ディスク情報を読み込んでいない。

ちょっと一言

ディスク選択をキャンセルするには、手順3の前にLISTボタンを押してください。

TV/ナビ/その他の映像機器

準備：テレビを見るには、付属のTVチューナーユニットを接続しておきます。



ちょっと一言

- あらかじめ受信できる放送局を登録すると、簡単にチャンネルを選ぶことができます。
- 「TV1」と「TV2」のそれぞれに6局ずつ、合わせて12局まで登録できます。
- 5秒以上ボタン操作をしないと通常の画面に戻ります。
- TVもFM/AMと同様のリスト機能が使用できます。

チャンネルを登録する

設定するには、モニターをセットした状態で、カードリモコンを使って操作します。

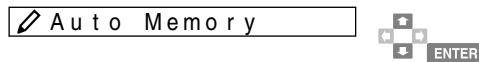
1 SOURCEボタンを押して「TV」または「VIDEO」を選ぶ。

「VIDEO」が表示されたら、手順2に進んでください。

2 MODEボタンを押して「TV1」または「TV2」にする。

3 MENUボタンを押す。

4 ↑または▼を押して「Auto Memory」を選ぶ。



5 ENTERボタンを押す。

「Auto Memory」が点滅表示され、受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

登録が終わると通常の表示に戻ります。

テレビの操作のしかた

選びかた/探しかた 操作のしかた

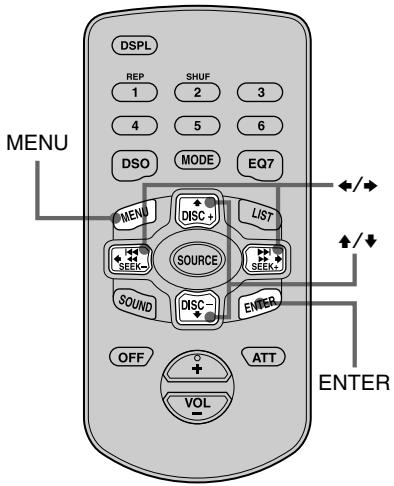
チャンネルを選ぶ SOURCEボタンを押して「TV」または「VIDEO」を選び、MODEボタンを押して「TV1」または「TV2」を選ぶ。数字ボタン1~6か、▲または▼を押す。

副音声を聞くには 1 テレビ受信中にMENUボタンを押す。
*二重音声放送を受 2 ▲または▼を押して「Main/Sub」を選び。
信しているときの 3 ▶を押して「Sub」を選び、ENTERボタンを押す。
みMENUに表示さ 通常の音声に戻すには
れます。 手順3で「Main」を選びます。

チャンネルを手動 1 SOURCEボタンを押して「TV」または「VIDEO」
で登録するには を選ぶ。
2 MODEボタンを押して「TV1」または「TV2」を選ぶ。
3 「放送局を手動で登録する」(23ページ) の手順3、
4 の操作をする。

テレビ局に名前を 「放送局に名前を付ける」(24ページ) の操作をする
つけるには (手順1で、「TV1」または「TV2」を受信する)。

画面モードを選ぶ



画面は通常の表示サイズ（4:3）のほかに、フルモード、ズームモード、ワイドズームモードに切り換えることができます。

画面モードを選択するには、モニターをセットした状態で、カーリモコンを使って操作します。

1 「TV」または「VIDEO」を選択してMENUボタンを押す。

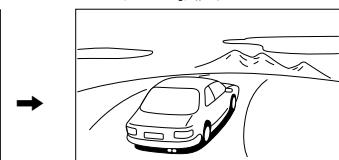
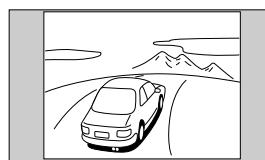
2 ↑または↓を押して「Wide Mode」を選ぶ。

3 ←または→を押して希望の画面モードを選択する。

→を押すごとにモニター表示は次のように切り換わります。

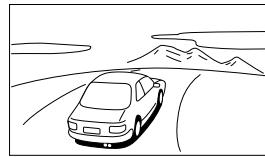
Normal (通常) : 縦横比
4:3の映像

Full (フル) : 縦横比4:3
の映像の左右を画面サ
イズに拡大



WideZoom (ワイドズー
ム) : 縦横比4:3の映
像の左右周辺だけを画
面サイズに合わせて拡
大

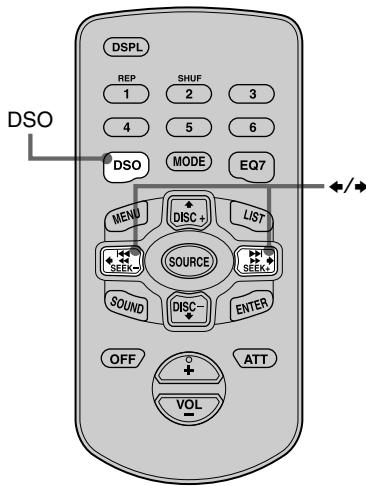
Zoom (ズーム) : 縦横比
4:3の映像全体を左右
に合わせて拡大し、上
下をカット



4 ENTERボタンを押す。

選択した画面モードに変わります。

サウンドの設定



DSOを設定する

スピーカーがドアの下部に設置されている場合は音が足元からこもって聞こえてきたり、左右の音が干渉して濁りがちです。このような場合に、DSO（ダイナミックサウンドステージオーガナイザー）機能を使用して、スピーカーのないところにスピーカーがあるかのように（バーチャルスピーカー）サウンドが鳴り響いてくる音場感を楽しむことができます。

DSOはソースごとに設定できます。

DSOを選ぶ

設定の種類 設定内容

DSO••1	音像の定位を足元にする
DSO••2	音像の定位をダッシュボード付近にする
DSO••3	音像の定位を顔の高さにする
DSO••off	DSOを解除する

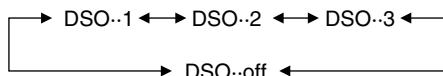
ちょっと一言

- FM放送が聞きにくいときは、DSO設定を解除すると聞きやすくなります。
- 車種やお聞きの曲によりDSOの効果がわかりにくい場合があります。

1 設定するソース（CD、MD、ラジオなど）を再生/受信する。

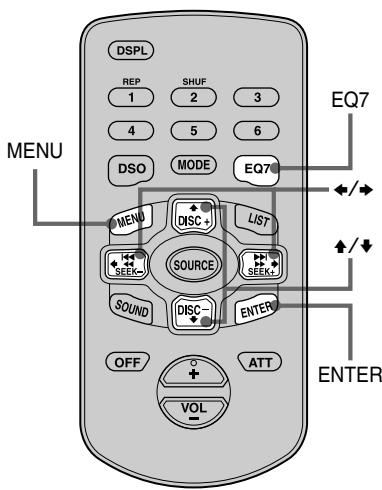
2 DSOボタンを押してDSOモードを選ぶ。

DSOボタンを押すごとに（またはDSOボタンを押してから◀/▶を押すごとに）モニター表示は次のように切り換わります（表示窓にも同様に表示されます）。



約3秒後に通常の画面が表示されます。

DSOを解除するには
手順2で「DSO••off」を選びます。



ご注意

DSO設定中は、DSOの効果を最適にするため、イコライザーの効果を抑えてあります。

ちょっと一言

3秒以上操作しないと、通常の画面に戻ります。

EQ7 (イコライザー) を使う

本機には音楽のジャンルに合わせた7種類のイコライザーカーブが用意されています。また、それらにお好みの変更を加えたイコライザーカーブを登録できます。イコライザーはソースごとに設定できます。

イコライザーカーブを選ぶ

1 設定するソース (CD、MD、ラジオなど) を再生/受信する。

2 EQ7ボタンを押して最適なイコライザーを選ぶ。

EQ7ボタンを押すごとに (またはEQ7ボタンを押してから $\leftrightarrow/\rightarrow$ を押すごとに) モニター表示は次のように切り換わります (表示窓にも同様に表示されます)。

→ EQ7..Vocal → EQ7..Club → EQ7..Jazz → EQ7..New Age
 ↓
 EQ7..Xplod ← EQ7..off ← EQ7..Custom ← EQ7..Rock ←

約3秒後に通常の画面が表示されます。

イコライザーを解除するには

手順2で「EQ7..off」を選びます。

サウンドの設定

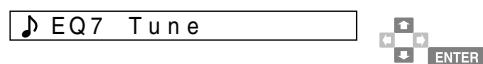
好きなイコライザーカーブを登録する

設定するには、モニターをセットした状態で、カードリモコンを使って操作します。

1 設定するソース (CD、MD、ラジオなど) を再生/受信する。

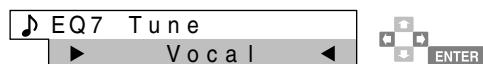
2 MENUボタンを押す。

3 ↑または↓を押して「EQ7 Tune」を選ぶ。



4 ENTERボタンを押す。

5 ←または→ (またはEQ7ボタン) を押してイコライザーカーブを選ぶ。



6 ENTERボタンを押す。

7 ←または→を押して周波数を選ぶ。

ボタンを押すごとに周波数は次のように切り換わります。

62 Hz ←→ 157 Hz ←→ 396 Hz ←→ 1.0 kHz ←→

16 kHz ←→ 6.3 kHz ←→ 2.5 kHz ←→

8 ↑または↓を押してレベルを調整する。

手順7、8を繰り返して、イコライザーカーブのレベルを調整します。

9 ENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

各イコライザーカーブを初期設定 (工場出荷状態) に戻すには手順7または8でENTERボタンを2秒以上押します。

ちょっと一言

手順2-4を行う代わりにEQ7ボタンを2秒以上押すと、EQ7設定メニューが表示されます。

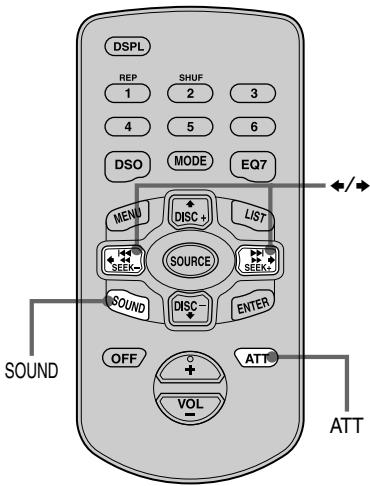
ご注意

- 「EQ••off」では、イコライザーカーブの調整はできません。
- 以下の表示は、イコライザーカーブを調整しても変わりません。



ちょっと一言

レベルの調整可能範囲は±10dBです。



音のバランスや音質を設定する (BAS/TRE/BAL/FAD/SUB)

本機では、音について、次の項目を調整することができます。

BAS (バス) : 低音レベル

TRE (トレブル) : 高音レベル

BAL (バランス) : 左右のスピーカー出力のバランス (移動させたほうと反対側の出力を減少させる)

FAD (フェーダー) : 前後のスピーカー出力のバランス (移動させたほうと反対側の出力を減少させる)

SUB (サブウーファー) : サブウーファーの出力レベル

サウンドの調整のしかたは、どの項目も同じです。ここでは、バランスの調整のしかたを例にして、説明します。

バランスを調整する

1 設定するソース (CD、MD、ラジオなど) を再生/受信する。

2 SOUNDボタンを押して「BAL」を選ぶ。



3 3秒以内に←または→を押して、調整する。

ちょっと一言

3秒以上操作しないと、通常の画面に戻ります。

ちょっと一言

本機のATT入力端子とソニー製カーナビシステムとを接続していると、カーナビシステムの設定により、音声案内時、カーステレオの音量が自動的に下がります。(ナビATT機能)

音量を瞬時に小さくする

ATTボタンを押す。

「ATT••on」と表示され、自動的に音量を下げます。

ATTがONのときは、モニターの左下にはアイコンが、表示窓には「ATT」と表示されます。

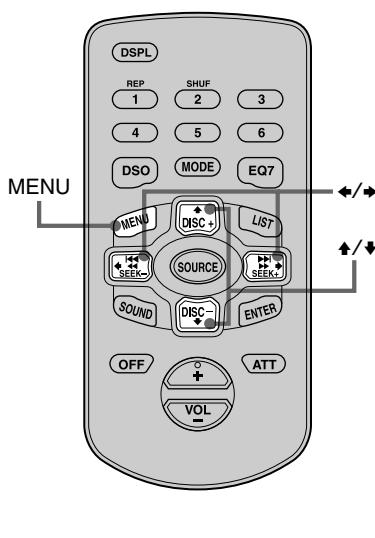
もとの音量に戻すには、もう1度ATTボタンを押すか、またはVOL+ボタンを押します。

「ATT••off」と表示され、もとの音量に戻ります。

ソースサウンドメモリーについて

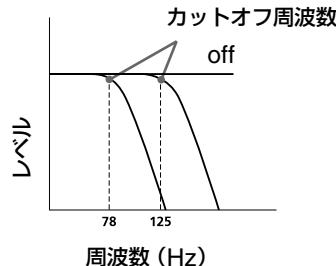
本機ではソース (FM、AM、CD、MD/MS、TV、VIDEO) ごとにDSOやイコライザーの設定を自動的に記憶しています (ソースサウンドメモリー)。それぞれのソースに合わせた最適な音質で再生することができます。

サウンドの設定



LPF (ローパスフィルター) を設定する

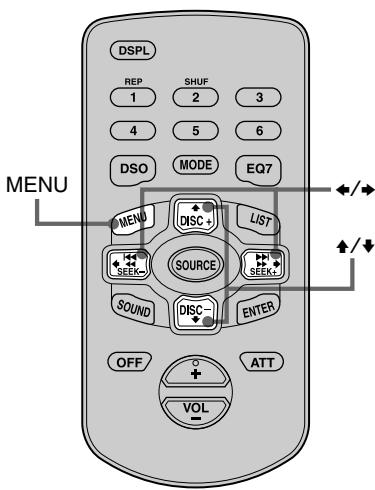
サブウーファーの音声出力端子に接続したサブウーファーの周波数特性を調整することができます。LPF (ローパスフィルター) を設定すると、高い周波数成分をカットし、サブウーファーの設置場所を意識させない、歯切れの良い重低音を作り出すことができます。たとえば、78 Hzを選ぶと、78 Hz以上の音が除かれます。



サブウーファーのカットオフ周波数を選ぶ

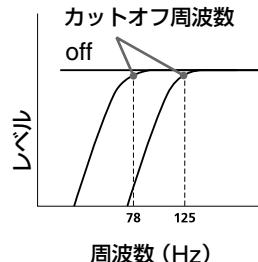
設定するには、モニターをセットした状態で、カードリモコンを使って操作します。

- 1 ソース (CD、MD、ラジオなど) を再生/受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を押して「LPF」を選ぶ。
- 4 ←または→を押してカットオフ周波数を選ぶ。
ボタンを押すごとに周波数は次のように切り換わります。
78Hz ←→ 125Hz ←→ off
- 5 MENUボタンを押す。
通常の画面に戻ります。



HPF (ハイパスフィルター) を設定する

設置されているシステムの特性に合わせてスピーカーの周波数特性を調整することができます。HPF (ハイパスフィルター) を設定すると、低い周波数成分をカットし、歯切れの良い中高音を作り出すことができます。たとえば、78 Hzを選ぶと、78 Hz以下の音が除かれます。



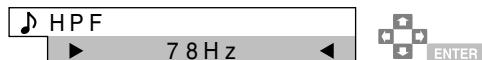
スピーカー出力のカットオフ周波数を選ぶ

設定するには、モニターをセットした状態で、カードリモコンを使って操作します。

1 ソース (CD、MD、ラジオなど) を再生/受信する。

2 MENUボタンを押す。

3 ↑または↓を押して「HPF」を選ぶ。



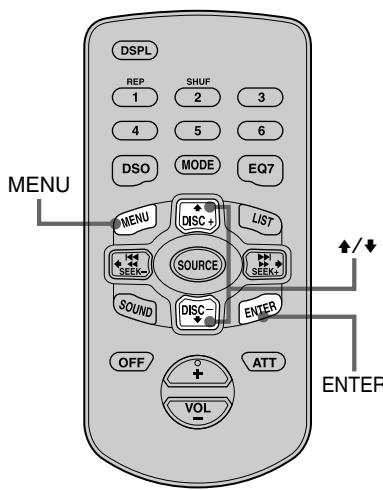
4 ←または→を押してカットオフ周波数を選ぶ。

ボタンを押すごとに周波数は次のように切り換わります。
 off ↔ 78Hz ↔ 125Hz

5 MENUボタンを押す。

通常の画面に戻ります。

サウンドの設定



ご注意

「VIDEO1」または「VIDEO2」表示にならない場合は、「音や表示の設定を換える」(44ページ) の「AUX-Video」の設定を「on」にしてください。

ご注意

本機に接続した機器によって音量は異なります。「VIDEO1」、「VIDEO2」を選択したときに音量を上げ過ぎると、他のソースに切り換えたとき思わぬ大音量になることがあります。

「入力1」、「入力2」に接続した機器の音量レベルを換える

付属のTVチューナーユニットの「入力1」と「入力2」に接続している外部ビデオ機器の音量レベルを調節することができます。

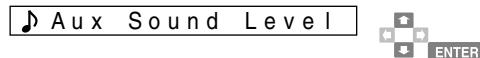
ソースを設定する

「VIDEO1」、または「VIDEO2」を選びます。

出力レベルを調整する

1 MENUボタンを押す。

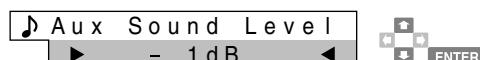
2 ↑または↓を押して「Aux Sound Level」を選ぶ。



3 ENTERボタンを押す。

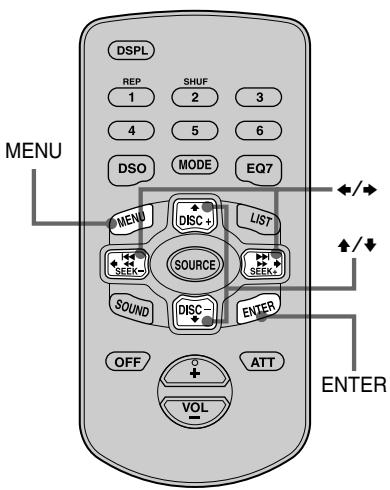
4 ↑または↓を押して、接続した機器に合わせて、出力レベルを調整する。

レベルの調整可能範囲は±6 dBです。



5 ENTERボタンを押す。

通常の画面に戻ります。



ナビの音量レベルを換える

本機に接続した別売りのナビシステムの音量レベルを変更します。

ナビ画面にする

本体のNAVIボタンを押します。

出力レベルを調整する

1 MENUボタンを押す。(ナビ画面を表示中)

2 ↑または↓を押して「Navi Sound Level」を選ぶ。



3 ←または→を押して出力レベルを調整する。

レベルの調整可能範囲は0 (OFF) ~15の16段階です。

4 ENTERボタンを押す。

通常の画面に戻ります。

その他の操作

音や表示などの設定を変える

概要

設定の対象が特定のソースの場合、該当するソースを選択しないと、そのメニューは表示されません。以下の説明では、設定の対象が特定のソースの場合に限り、メニュー名の隣の()内に対象となるソース名を示します。

設定操作については、「設定を変える」(46ページ)をご覧ください。

セットアップメニュー

- **Code Edit**
16ページ

- **Clock**
18ページ

- **Beep**
操作音のon/offを設定します。

- **RM Direction**

ロータリーコマンダー(別売り)のつまみの操作方向を切り替えます。(47ページ)
rev : ハンドルコラムの右側に取り付けたときの回転方向。

norm : ハンドルコラムの左側に取り付けたときの回転方向。

- **AUX-Video (スタンバイモード時 : OFFボタンを押して、時計表示にしたとき)**

映像ソースを選択できるようにするかどうかを設定します。

- **Monitor Position**

イグニッションキーの位置に連動して、モニターを自動的にセットまたは収納する設定をします。

Auto Open/Close : 「ACC(アクセサリー)」をOFFにしたとき、モニターがセットされている場合は、モニターを自動的に本体に収納する。

「ACC(アクセサリー)」をONにしたとき、前回この設定によりモニターを収納した場合に限り、モニターを自動的にセットする。

Manual : 本機の「OPEN/CLOSE」ボタンでモニターをセット/収納する。

ディスプレイに関するメニュー

- **Dual Information**
時計を常に表示させるかどうかを設定します。

• Dimmer

モニターの減光を設定します。

Auto : 車の照明をONにすると、表示が減光する。(車の照明電源に接続されている場合のみ)

on : 表示が減光する。

off : 表示が減光しない。

• Rear Monitor Out

リアモニターへ出力する映像ソースを設定します。

Video1

Video2

Front : 選択されている映像ソースをリアモニターに出力する。映像以外のソースが選択されている場合は、映像は出力されない。

• Monitor Tune

モニターの画質を調整します。(設定はナビ画面には反映されません。)

▲を押すごとに設定項目は次のように切り換わります。

→ Brightness → Color → Hue →

Brightness* : ←暗くなる、明るくなる→

Color : ←淡くなる、濃くなる→

Hue : ←赤みがかる、緑がかる→

* ナビ画面にしたときは、「Navi Brightness」で調整してください。

• Auto Scroll (CD、MD選択時)

MD、CD TEXT対応のCDまたはMP3ファイルを再生していて、かつSOURCEにCDまたはMDが選択されているとき、この設定が「on」になっていると、ディスクまたは曲を切り換えたときに表示が自動的にスクロールします。ディスク名または曲名表示がスクロールするのではなく、モニター表示では13文字以上、表示窓では9文字以上の場合は。

on : モニター表示では13文字以上、表示窓では9文字以上の表示をスクロールさせる。

off : オートスクロールを解除する。

• Wide Mode (TV、VIDEO、CD*選択時)

画面モードを変更します。(35ページ)

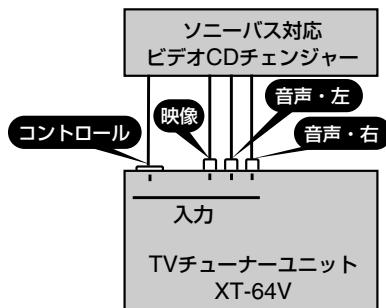
▲を押すごとに、設定項目次のように切り換わります。

→ Full → Zoom → WideZoom → Normal →

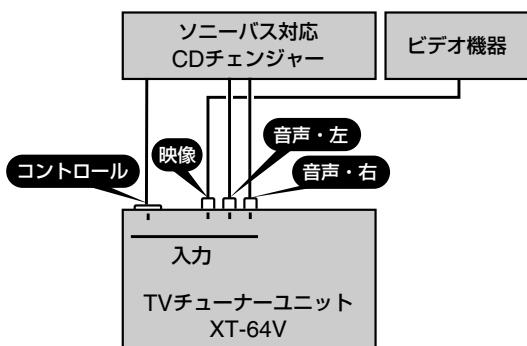
* Video Mix Playが「on」または「auto」に設定されているとき。

- **Video Mix Play (CD選択時のみ)**
CD*を再生中に映像を表示します。
on : OSDをオフにして、映像を表示する。
off : OSDをオンにして、映像を表示しない。
auto : ソニーバス対応のビデオCDチェンジャーを接続し、ビデオCDを検出すると、自動的にOSDをオフにして、映像を表示する。
* 別売りのCDチェンジャーやビデオカメラレコーダーなどの映像機器が接続されている必要があります。映像ソースからのビデオケーブルは、付属のTVチューナーユニットの「入力」と表示されている映像端子（黄色）に接続されていなければなりません。

接続例1)



接続例2)



この接続例では、設定を「off」と「auto」にしたときの動作は同じになります。

- **Navi Brightness (ナビ画面選択時)**
モニターをナビ画面にしたときの明るさを調整します。

受信モードに関するメニュー

- **Local Seek (FM、AM選択時)**
ローカル受信のon/offを設定します。（22ページ）
- **Mono (FM選択時)**
FM放送受信時に、音声をモノラルにします。（22ページ）

• IF (FM選択時)

雑音により放送が聞きにくいとき、受信周波数を自動的に調整します。（22ページ）

Auto : 受信周波数の幅を自動調整する。

Wide : 受信周波数の幅を広げる。

• Main/Sub (TV選択時)

テレビ受信時に主音声と副音声を切り替えます。

Main/Sub•Main : 主音声にする。

Main/Sub•Sub : 副音声にする。

サウンドに関するメニュー

• EQ7 Tune

EQ7として用意されているイコライザーカーブに好みの変更を加えて登録することができます。（38ページ）

• HPF

ハイパスフィルターを設定します。（41ページ）

78Hz : 78 Hz以下の音域をカットする。

125Hz : 125 Hz以下の音域をカットする。

off : フィルター機能をオフにする。

• LPF

ローパスフィルターを設定します。（40ページ）

78Hz : 78 Hz以上の音域をカットする。

125Hz : 125 Hz以上の音域をカットする。

off : フィルター機能をオフにする。

• Loudness

小音量時に低音と高音を上げて量感ある再生ができるようにします。

• AUX Sound Level (AUX-Video選択時)

VIDEO1/VIDEO2の音量レベルを調整します。（42ページ）

• Navi Sound Level (ナビ画面選択時)

ナビシステムの音声ガイダンスの音量を調整します。（43ページ）

編集操作に関するメニュー

• Name Edit (FM、AM、TV、CD選択時)

CDや放送局に名前を付けます。（24、31ページ）

• Name Delete (FM、AM、TV、CD選択時)

Name Editで設定した名前を消去します。（25、32ページ）

• BTM (FM、AM選択時)

受信状態の良い放送局を自動的に登録します。（21ページ）

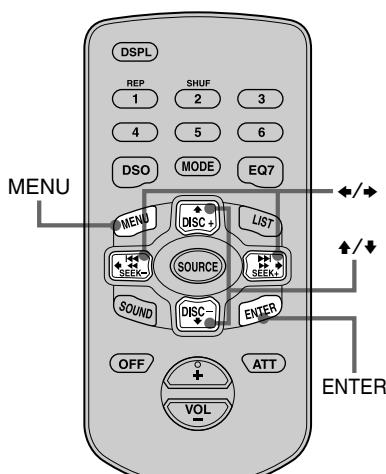
• Auto Memory (TV選択時)

受信状態の良い放送局を自動的に登録します。（34ページ）

その他の操作

設定を変える

設定を変えるには、モニターをセットした状態で、カードリモコンを使って操作します。

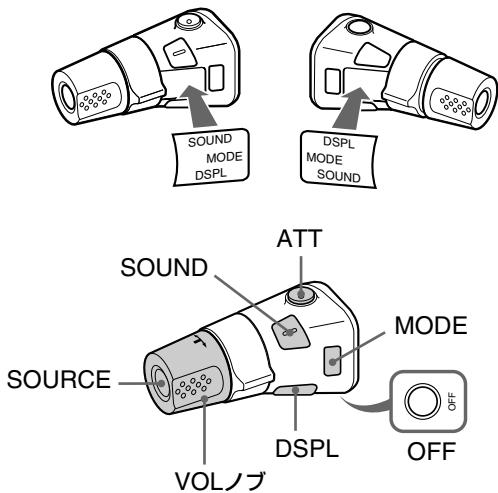


- 1 MENUボタンを押す。
- 2 ↑または↓を押して、設定したい項目を選ぶ。
- 3 ←または→を押して希望の設定値を選ぶ。(例:「on」または「off」)
- 4 ENTERボタンまたはMENUボタンを押す。

ロータリーコマンダーの操作

本機は、別売りのロータリーコマンダーRM-X4Sで操作することができます。

ロータリーコマンダーを取り付けたら、取り付け向きに合わせてシールを貼ってください。



SOURCEボタンを押すと

本機がスタンバイ（待機）状態のときは電源が入り、繰り返し押すとソースが以下のように切り換わります。

FM/AM → CD* → MD/MS* →
TV/VIDEO → FM/AM → ...

* 別売りの機器を接続したときのみ表示されます。

MODEボタンを押すと

ラジオのとき：FM1 → FM2 → AM1 → AM2

CD*のとき：CD1 → CD2 → CD3 → ...

MD*のとき：MD1 → MD2 → MD3 → ...

ビデオのとき：TV1 → TV2 → VIDEO1 →
VIDEO2

* 別売りの機器をTVチューナーユニットに接続したときのみ表示されます。

VOL（音量調節）ノブを回すと 音量が変わります。

ATTボタンを押すと

瞬時に音量を下げます。

もう一度ATTボタンを押すか、またはVOLノブを操作すると、もとの音量に戻ります。

OFFボタンを押すと

短く押すとスタンバイ（待機）状態となり、押し続けると電源が切れます。

SOUNDボタンを押すと

音のバランスや音質を調整します。

カードリモコンのSOUNDボタンと同じ働きをします。

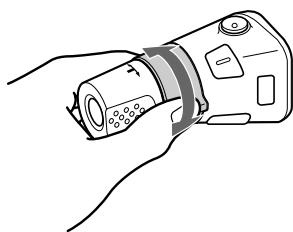
DSPLボタンを押すと

画面表示が換わります。

カードリモコンのDSPLボタンと同じ働きをします。

その他の操作

SEEK/AMSつまみを短く回して離すと

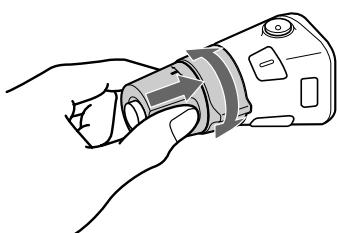


ラジオ：自動的に放送局を受信します。回し続けると希望の周波数に合わせられます。

CD/MD/MS*：曲の頭出しをします。回し続けると早送りされ、離すと再生に戻ります。

テレビ：自動的に放送局を受信します。回し続けると希望のチャンネルに合わせられます。

VOLつまみを押しながら回すと



FM/AM/TV：登録した放送局を順に受信します。

CD/MD*：ディスクを切り替えます。放送局やディスクを続けて切り換えるには、そのたびにつまみを押しながら回してください。表示画面は数秒後に元に戻ります。

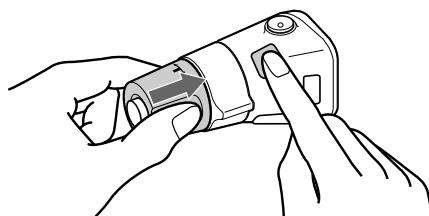
* 別売りのソニー製CD/MD/DVDチェンジャーやMGメモリースティックシステムアッププレーヤー接続時のみ。

つまみの操作方向を切り換える

つまみの操作方向は、工場出荷時は下図のように設定されています。



ステアリングコラムの右側に取り付けたときは、つまみの操作方向を反対にすることができます。



VOLボタンを押したままSOUNDボタンを2秒間押す

ちょっと一言

つまみの操作方向は、本体の設定メニューでも変更できます。(44ページ)

使用上のご注意

テレビ/ビデオ画面を見るには

テレビ/ビデオ画面は、車を止めて、パーキングブレーキを引いているときのみ映ります。パーキングブレーキを戻すと、メッセージ画面を約5秒間表示したあと、自動的にテレビ/ビデオ画面を消し、音声のみとなります。

液晶パネルについて

- ・液晶パネルの前面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- ・お手入れについては、次のことにご注意ください。
 - －液晶パネルについたほこりやゴミ、指紋などは柔らかい布でふきとってください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布に含ませてふきとってください。
 - －ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
 - －静電気防止剤なども、逆に液晶パネルを傷めることができますので使用しないでください。
- ・寒いところでご使用になる場合、内部照明装置(バックライト)が暗くなりますが、車内の温度が上がるともとに戻ります。
- ・温度が5°C以下または45°C以上のところではご使用にならないでください。
- ・かなりの低温または高温になると映りが悪くなることがあります。故障ではありません。常温に戻ると回復します。

液晶パネルの輝点について

モニター画面の同じ場所に、青い点や赤い点などが現れることがあります。このような現象を輝点といいます。液晶パネルの性質上発生するものです。

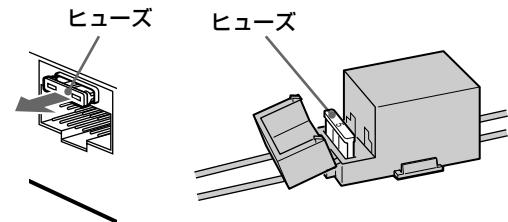
液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。また、電源を切ったときに数秒間画面に亂れが出ることがあります。あらかじめご了承ください。いずれの場合もお使いになる上で支障はありません。

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触したりしないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量を超えるヒューズや針金などで代用すると故障の原因となります。



結露について

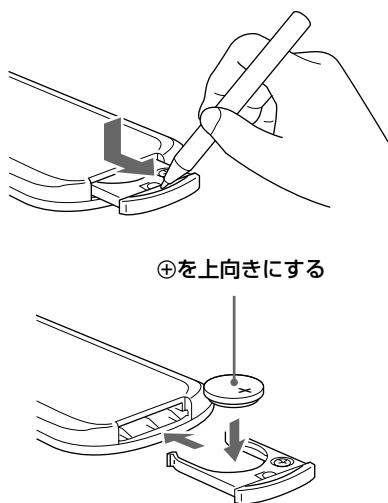
寒いところから暖かいところへ持ち込んだ場合などに、表示窓の内部に露(水滴)が生じてくもることがあります。このような現象を結露といいます。

結露した場合は、しばらく放置しておくと内部の露が消滅して正常に戻ります。

使用上のご注意

電池の入れかた

リチウム電池CR2025の+と-を正しく入れてください。



電池の交換時期

電池が消耗すると、ボタンを押しても操作できないことがあります。通常の使いかたで約1年もちらますが、使用頻度によって変わります。カードリモコンのボタンを押しても本機がまったく動作しない場合は、電池を交換し、動作を確認してください。

カードリモコンについてのご注意

ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。(特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。)

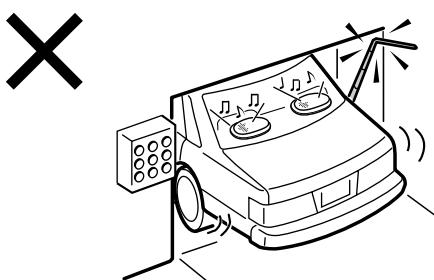
直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。

直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

その他のご注意

アンテナの高さより低い場所（駐車場や洗車機など）へ入るときはラジオを止める

ラジオの受信中はパワーアンテナが自動的に上がります。低い場所へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、OFFボタンを押してアンテナが下がったことを確認してください。



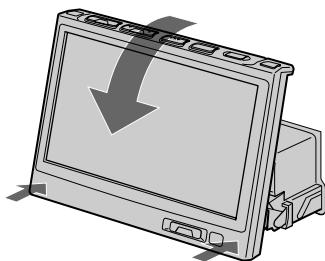
モニターセット中に動作が止 まったときは

モニターをセットしたり収納したりするときに、シフトレバーなどの障害物にあたって動作が止まった場合、以下の手順でセットまたは収納をやり直してください。

1 車のキーをOFFにし、障害物を取り除く。

2 モニターサイドの両側を矢印方向に押し、モニターを手前に倒す。

本機のリモコン受光部やモニターの画面を押さないようにご注意ください。



3 車のキーをONにし、本体のリセットボタンを押す。

(8ページの「まず、本機をリセットする」をご覧ください。)

ご注意

リセットボタンを押すとモニターの傾きはお買い上げ時の状態になります。

故障かな？と思ったら

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

共通

症状	原因・処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">音量を上げてください。ATT機能を解除してください。スピーカー接続時、スピーカー出力の設定が正しくない。 →2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。
メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none">リセットボタンを押した。バッテリー用電源コードまたはバッテリーを外した。電源コードが正しく接続されていない。
ボタンを押したときの操作音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">操作音が出ない設定になっている。 →Beepの設定(44ページ)を「on」にしてください。別売りのパワーアンプを接続しており、内蔵のアンプを使用していない。
表示窓に何も表示されない。	<ul style="list-style-type: none">OFFボタンを押し続けて時計表示を消した状態にしている。 →本体のSOURCEボタンを押してください。「Video Mix Play」の設定を確認してください。
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none">電源コードが正しく接続されていない。 →接続を確認してください。すべて正しく接続されている場合は、ヒューズを確認してください。イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 →SOURCEボタンを押してください。
電源がOFFにならない。	<ul style="list-style-type: none">イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 →OFFボタンを押し続けてください。
登録した放送局が消えたり、正しい時刻が表示されない。	ヒューズが切れた。
イグニッションキーをON、ACC、またはOFFにすると、ノイズが出る。	接続コードと車のアクセサリー電源のコネクターが接触不良を起こしている。
「ATT」が表示され、音量が下がる。	ATT(アッテネート)機能のコントロールコードが車の金属部分とショートしている。 →ショートしないようにコードの導体部分にテープを巻いて絶縁してください。
ノイズが出る。	アンテナコード、バスケーブル、RCAピンコードおよび電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、配置してください。
オートアンテナが上がらない。	リレー内蔵のオートアンテナに接続していない。
ボタンを押しても動作しない。	リセットボタンを押してください。
カードリモコンのボタンを押しても動作しない。	カードリモコンの電池が切れている。
別売りの機器を接続しても映像や音が出ない。	コードが接続されていない。 →コードを確実に接続してください。

CD/MD

症状	原因・処置
ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。	CD/MDを裏返し、または間違った向きに入れた。
振動で音がとぶ。	本体を車の頑丈な部分に取り付けていない。
音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none">ディスクが汚れている。 →ディスクをクリーニングしてください。ディスクが傷ついている。
MDが再生できない。	何も録音されていないMDを再生している。 →録音済みのMDを再生してください。

ラジオ/テレビ

症状	原因・処置
プリセット選局ができない。	<ul style="list-style-type: none">正しい周波数を登録してください。放送の電波が弱すぎる。
FM受信時に妨害が起きる。	IFモードが「Wide」になっている。 →IFモードを「IF Auto」にしてください。(22ページ)
受信できない。 雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none">パワーアンテナコントロールコード(青色)またはアクセサリー電源(赤色)を、純正アンテナブースターの電源供給コード(車両側)に接続してください(リアまたはサイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合)。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。カーラジオとの接続を確認してください。オートアンテナが上がってない。 →パワーアンテナコントローラーの接続を確認してください。周波数を確認してください。DSOの設定を「off」にしてください。(36ページ)
「VIDEO1」と「VIDEO2」が選択できない。	<ul style="list-style-type: none">TVチューナーユニットの接続を確認してください。接続が正しいか、確認してください。AUX-Videoの設定が「off」になっている。 →AUX-Videoの設定を「on」にしてください。(44ページ)
SEEKボタンを押しても、聞きたい放送局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none">Local Seekの設定を「on」にしている場合は、電波の強い周波数のみ受信します。 →Local Seekの設定を「off」にしてください。(22ページ)電波が弱いため自動選局できない。 →またはを押しつづけて周波数を合わせてください。
ステレオ放送が聞きにくい。 ST表示が点滅する。	<ul style="list-style-type: none">周波数を確認してください。電波が弱い。 →音声をモノラルにしてください。(22ページ)DSOの設定を「off」にしてください。(36ページ)

故障かな？と思ったら

サウンド設定

症状	原因・処置
音が出ない、または音が小さい。	音のバランス調整で、特定のスピーカーの音量が小さくなかった。 →バランスを調整してください。(39ページ)

CD/MDのメッセージ、エラー表示

本機や本機に接続されたCDチェンジャー、MDチェンジャーが誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
BLANK (Blank Disc*)	MDに何も録音されていない。	他のMDに入れ換える。
ERROR (Error*)	ディスクが裏返しになっている。 MDが何らかの原因で再生できない。 CDが汚れている。	ディスクを正しく入れ直す。 ほかのMDに入れ換える。 CDをクリーニングする。
HI TEMP (High Temp*)	機器が高温になっている。	電源をOFFにし、しばらく放置する。
NO DISC (NO Disc*)	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO MAG (NO Magazine*)	チェンジャーにマガジンが入っていない。	マガジンを入れる。
NO MUSIC (NO Music*)	CDに音声情報が記録されていない。	他のCDに入れ換える。
RESET (Push Reset*)	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

* モニターの表示

表示	意味
LCL Seek +/-	自動選局中にローカル受信になっている。(22ページ)
"LLL" or "RRR"	ディスクの先頭または最後になったため、それ以上進めない。

主な仕様

本体

モニター部

種類	ワイド液晶カラーモニター
サイズ	7V型
方式	TFTアクティブマトリックス 方式
画素数	336,960画素

チューナー部

FM	
受信周波数	76~90MHz (テレビ1~3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	8dBf
周波数特性	30~15,000Hz
実効選択度	75dB (400kHz)
SN比	66dB (ステレオ) 72dB (モノラル)
ひずみ率 (1 kHz)	0.6% (ステレオ) 0.3% (モノラル)
セパレーション	35dB (1kHz)
AM	
受信周波数	522~1,629kHz
中間周波数	10.7 MHz/450kHz
実用感度	30μV

アンプ部

出力	スピーカー出力
適合インピーダンス	4~8Ω
最大出力	45W×4 (4Ω負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
入力端子	FM/AMアンテナ (1系統) 電源 (1系統) ATTコントロール (1系統) イルミネーションコントロール (1系統) リモートコントロール (1系統)

出力端子	フロント音声 (1系統) リア音声 (1系統) サブウーファー (モノラル) パワーアンテナリレーコントロール (1系統)
本体入出力端子	22ピン角型 (専用)
トーンコントロール	バス ±7.5dB (100Hz) トレブル ±7.5dB (10kHz)
ラウドネス	+8dB (100Hz) +2dB (10kHz)
寸法	モニター収納時 約178×50×185mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約1.7kg
付属品	カードリモコン RM-X118 (1) (リチウム電池 (1) を含む) TVチューナーユニット XT-64V TVアンテナ VCA-117 取り付け/接続部品 (一式) 取扱説明書 (1) ソニーご相談窓口のご案内 (1) 保証書 (1)
別売品	ロータリーコマンダー RM-X4S (1)

次のページへつづく

主な仕様

TVチューナーユニット

受信方式	NTSC方式
受信チャンネル (日本国内)	1ch～12ch (VHF) 13ch～62ch (UHF)
電源	DC12Vカーバッテリー (マイナス)
消費電流	0.7A
入力端子	映像/音声 (ソニーバス対応、 1系統) 映像/音声 (2系統) TVアンテナ (4系統) 電源 (1系統)
出力端子	映像/音声 (1系統)
本体入出力端子	22ピン角型 (専用)
ナビシステム入出力端子	20ピン角型 (専用)
寸法	約185.4×29.8×136.6mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約0.7kg

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？と思ったら」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するため必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は* 03-5448-3311

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

● FAX 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし、内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

- 1 : 修理受付
- 2 : 使用方法や故障と思われるご相談
- 3 : お買物相談
- 4 : 業務用・プロ用商品に関するご相談全般
- 5 : その他のご相談

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

Sony Corporation Printed in Japan

<http://www.sony.co.jp/>